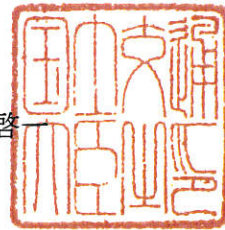


認定書

国住指第 2317 号
平成 29 年 10 月 26 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0946
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付排水管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付排水管・鋳鉄製管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分(中空床を除く)

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ210mm以下)
	面積	0.0347m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		52.4%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 150mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様			
被覆材		材料	①、②又は組合せ ① ②ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート・PETフェルト		
		寸法	材料①：厚さ 材料②：厚さ 14.2mm以下 被覆長さ：300mm以上(立て管、横枝管)		
		使用箇所	(1) 立て管 (2) 横枝管(あり又はなし) (ただし、耐火二層管の場合は、被覆材はなし)		
	材料①	表面材	①	材料	
			質量		
			②	材料	
			組成(質量%)		
			厚さ		
			密度		
		基材	材料		
			厚さ		
			密度		
		材料②	表面材	①	材料 ①及び②の組合せ
				材料	あり又はなし ポリオレフィン系樹脂不織布
質量					
②	材料 軟質塩化ビニル樹脂シート				
組成(質量%)					
厚さ	2.2mm以下				
密度					
基材	材料		PETフェルト		
	組成(質量%)				
	厚さ		12mm以下		
	密度				

つづく

つづき

貫通部措置材		材料	①、②又はなし ①アルミニウム・ガラスクロステープ張ロックウールシート・不織布付ロックウールフェルト ②熱膨張材混入樹脂シート	
		寸法	材料①：総厚さ 12.9(±0.5)mm以上、幅 150mm以上 材料②：厚さ 7.0(±1.0)mm、幅 150mm以上	
		使用箇所	床貫通部の管継手1の周囲に巻き付け	
	材料①	シート	材料	①、②及び③(3層) ①内層：ポリオレフィン系不織布付ロックウールフェルト ②中間層：ロックウールシート ③外層：アルミニウム・ガラスクロステープ
			厚さ	総厚さ 12.9(±0.5)mm以上 ①内層厚さ：10.6(±0.6)mm ②中間層厚さ：2.1(±0.5)mm ③外層厚さ：0.2mm以上
			密度	①内層： ②中間層：
		テープ	材料	アルミニウムはく張ガラスクロステープ(酢酸ビニル樹脂系粘着剤付)
			寸法	厚さ0.2mm以上
			用途	材料①(シート)の施工用
	材料②	シート	材料	熱膨張材混入樹脂シート
			組成(質量%)	
			厚さ	7.0(±1.0)mm
			密度	
		使用箇所	管継手周囲に床厚さ以上に巻き付ける	
		テープ	材料	塩化ビニル系テープ(酢酸ビニル樹脂系粘着剤付)
寸法	厚さ0.2mm以下			
充てん材		材料	セメントモルタル	
		組成(質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75	
		使用箇所(使用量)	床と排水管(管継手1)の隙間 (床厚方向150mm以上密に充てん)	

表3 配管の仕様

項目		仕様					
排水管	管継手1 (貫通部材)	材料	本体：ねずみ鋳鉄品 (JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂系粉体焼き付け塗装 ゴムパッキン：EPDM あり又はなし 押輪：球状黒鉛鋳鉄品 (JIS G 5502) 留付材：ボルト (鋼製 (ステンレス鋼含む)) 横枝本数：4本以下				
		種類	受けロタイプ (床上) 差しロタイプ (床下)				
		外径	φ152mm以下				
	管継手2	材料	本体：ねずみ鋳鉄品 (JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂系粉体焼き付け塗装 ゴムパッキン：EPDM 押輪：球状黒鉛鋳鉄品 (JIS G 5502) 留付材：ボルト (鋼製 (ステンレス鋼含む))				
		種類	受けロタイプ (掃除口あり又はなし)				
		外径	φ224mm以下				
	立管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VP管、HIVP管、HT管))	外径	φ114.0mm以下	厚さ	7.1mm以下	
	横枝管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776 (VP管、HIVP管、HT管))				φ114.0mm以下	7.1mm以下
		耐火二層管 (国土交通大臣認定：PS060FL-0383、0401、0454において配管として規定される繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管)				外管： φ138mm以下 内管： φ114.0mm以下	外管： 5.5mm以上 内管： 7.1mm以下
	横主管	耐火二層管 (国土交通大臣認定：PS060FL-0383、0401、0454において配管として規定される繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管)				外管： φ183mm以下 内管： φ165.5mm以下	外管： 5.5mm以上 内管： 9.6mm以下

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
ジョイントテープ	材料	合成樹脂製 (合成ゴム系粘着剤付)	
	寸法	厚さ：0.95mm以下、幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材と配管の端部、被覆材同士	
被覆材用テープ	材料	①又は② ①布テープ (合成ゴム系粘着剤付) ②合成樹脂テープ (アクリル系粘着剤付)	
	寸法	厚さ：0.3mm以下、幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用	

5. 構成説明図：

構成説明図を図1及び図2に示す。

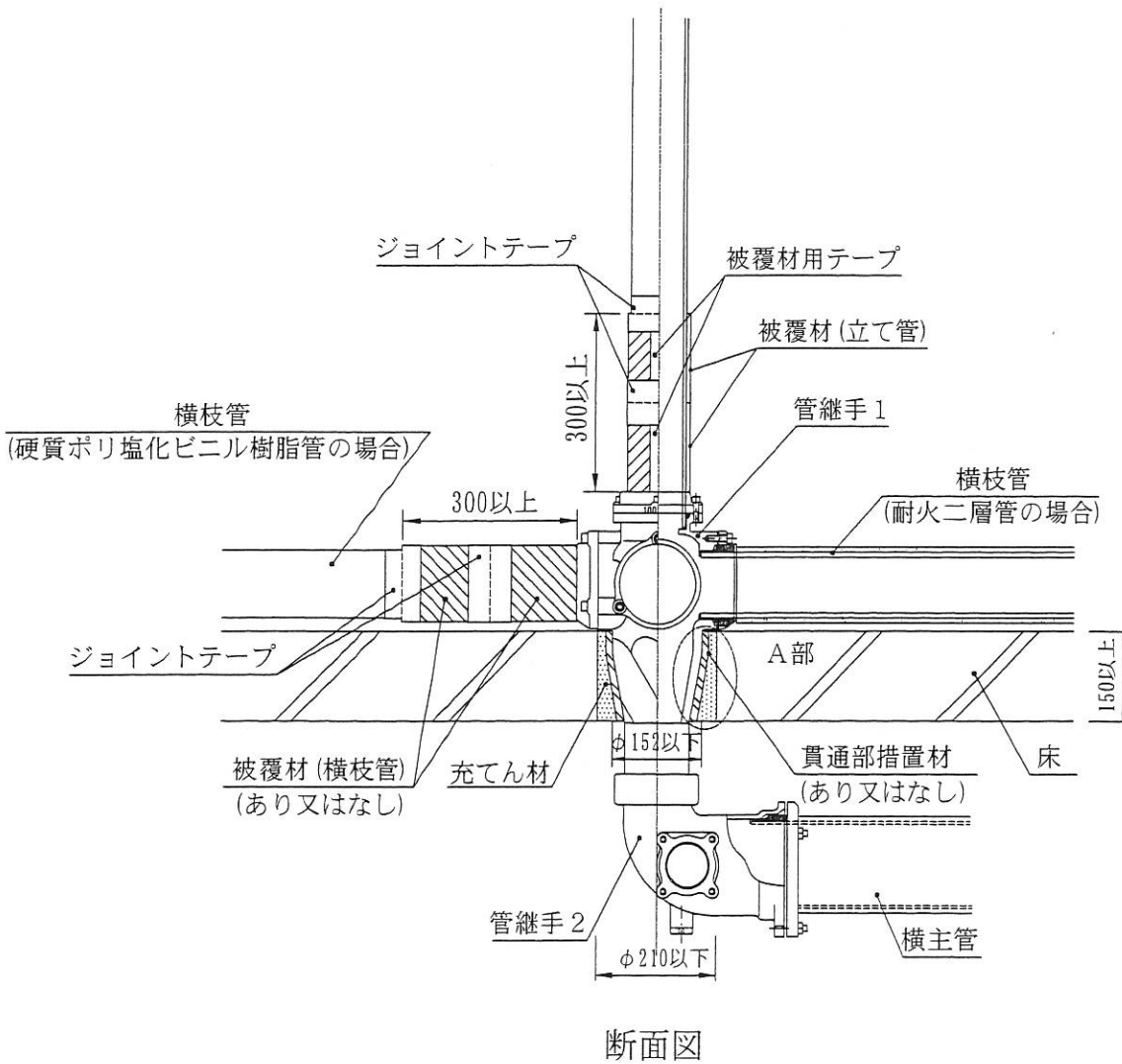
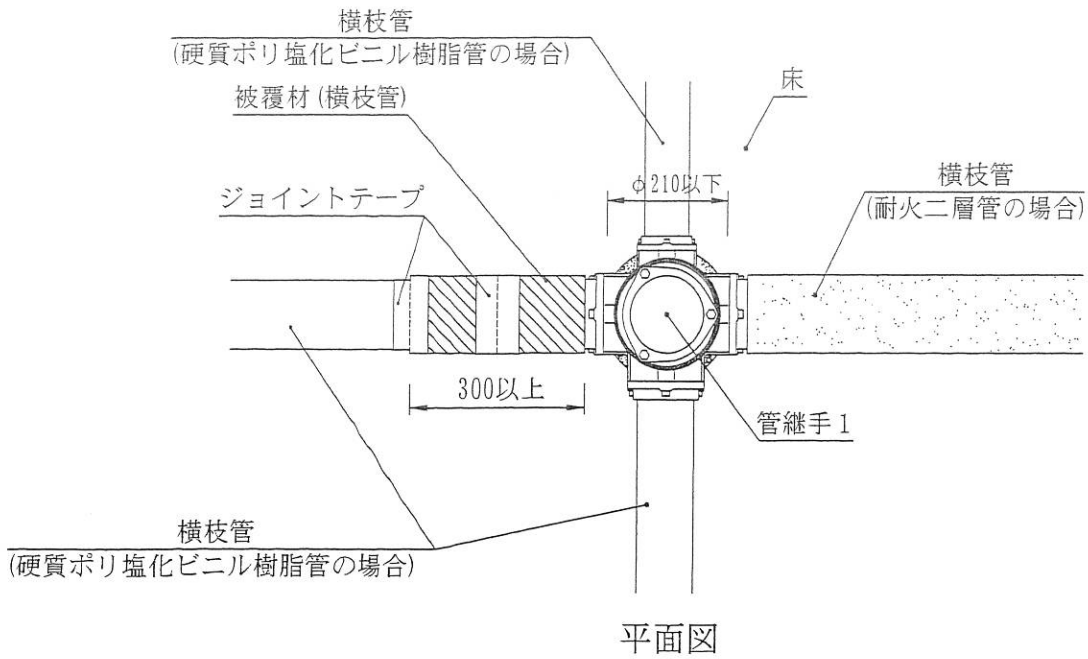
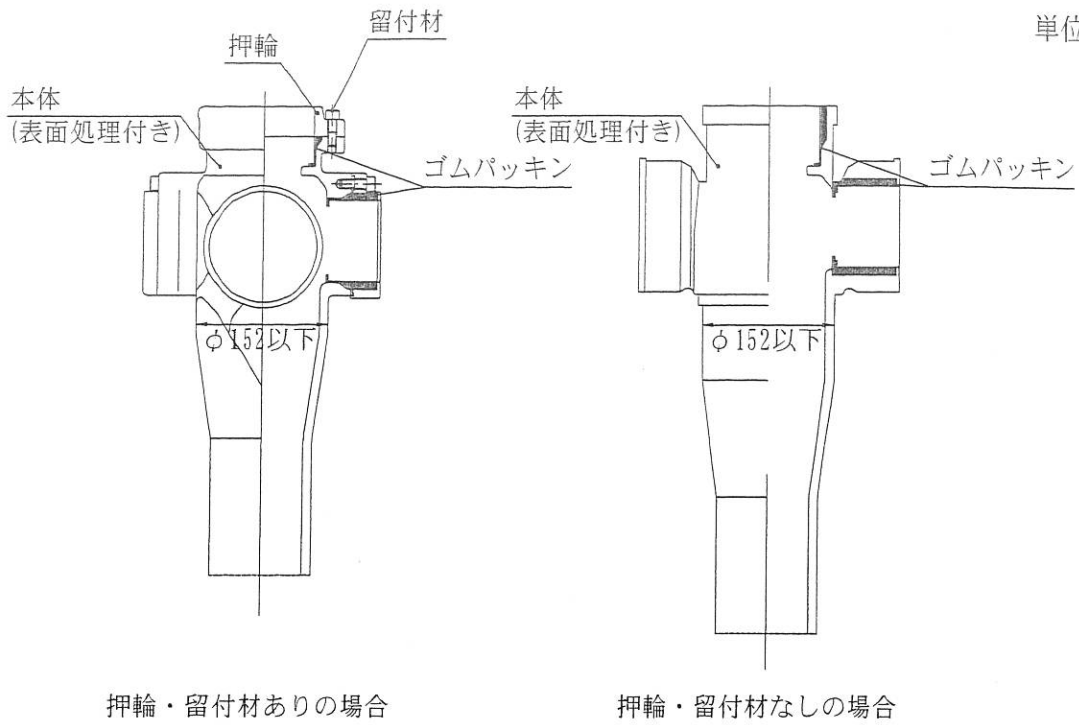
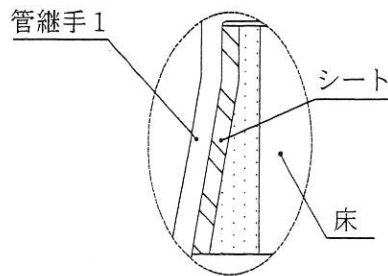
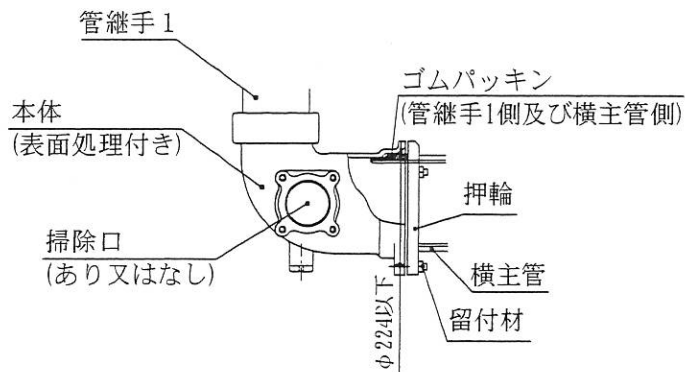


図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



管継手1詳細図(代表例)



A部詳細図(貫通部措置材)

図2 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
配管サイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。
- (2) 管継手 1 に貫通部措置材を設置
＜貫通部措置材料①ありの場合＞
管継手に貫通部措置材を取り付ける。
 - ①シートの巻きつけ
シートを所定の長さに予め裁断する。シートの上端が、継手が設置される開口部の上面にほぼ一致するように、継手に巻付ける。
シート巻付けの初端と終端は隙間なく巻付け、テープにて張り合わせる。(オーバーラップ可)
 - ②テープによる集合管への固定
シートの上端部及び下端部にテープを巻き付けて鋳鉄製集合管に固定する。
＜貫通部措置材(材料②)ありの場合＞
 - ①シート取り付け
管継手 1 にシートを貫通部(床)厚さ以上に隙間の無いように巻きつける。
 - ②テープの貼り付け
その上にテープを巻き付ける。
- (3) 管継手 1 の設置
管継手 1 を所定の位置に設置する。
- (4) 埋戻し
セメントモルタルにて埋め戻し、隙間がないことを確認して仕上げる。
- (5) 配管の設置
立て管、横枝管に被覆材施工し、管継手 1 に挿入し、管継手 1 の下接続に管継手 2、その先の接続部に横主管を接続し、支持・固定する。